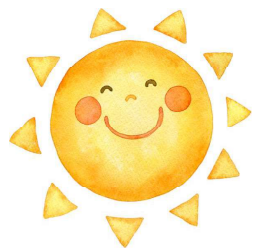


乳幼児健診におけるサポート および 保護者支援の取り組み



高知県立療育福祉センター
発達障害者支援センター「きらっと」
高知ギルバーク発達神経精神医学センター
野々宮 京子

1

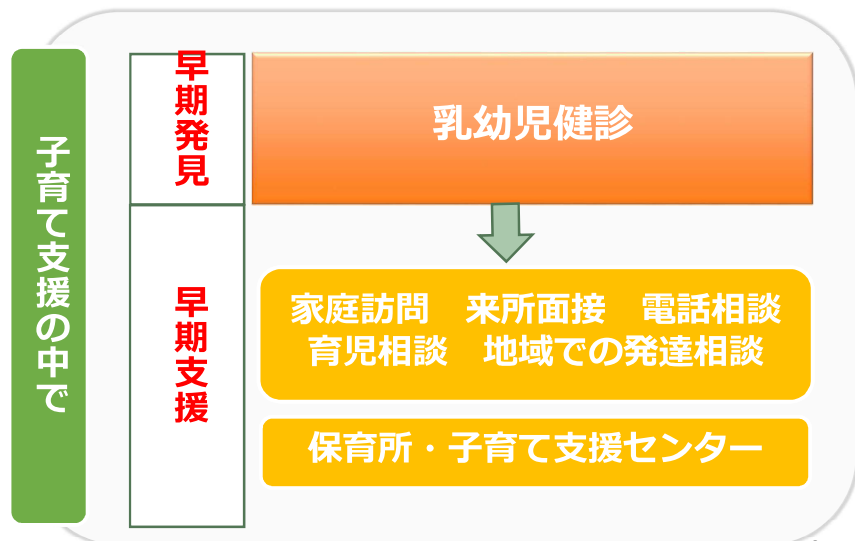
早期発見・早期支援とは

発達が気になる子どもとその家族を
早い段階から（気づいた時から）
支えていく

診断につなげるだけが目的ではない

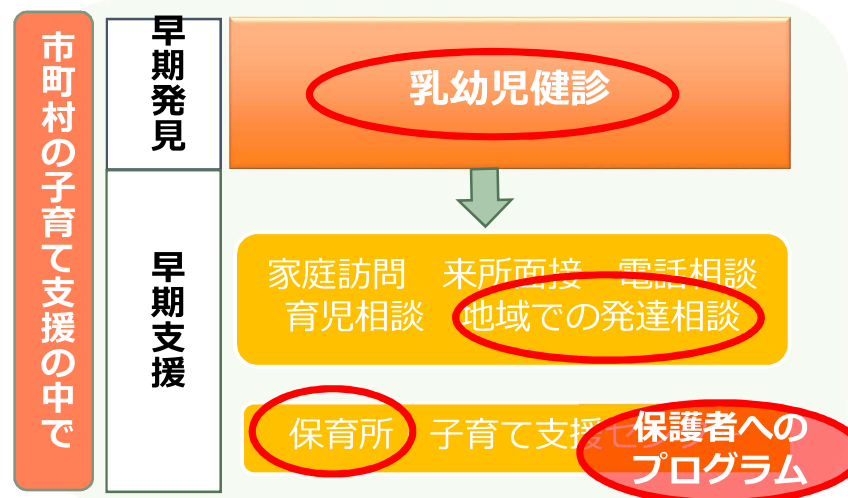
2

母子保健・子育て支援の活動として



3

大月町における ESSENCEチームの介入



4

1歳6か月健診・2歳児健診・3歳児健診 におけるサポート

5



6

ESSENCEチームが目指すこと

保健師が

- 発達の見立てができるようになる
- 健診後のサポートを考えることができる
- それを保護者に伝えることができるようになる

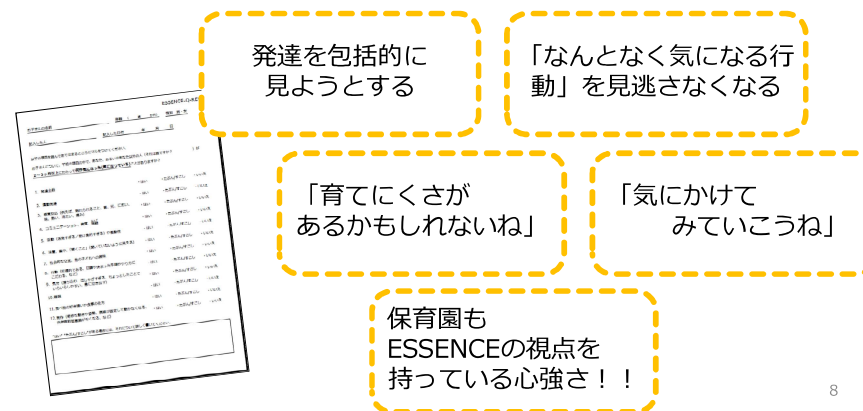
地域の主体性と自信を高めていくこと。
それを後押しをする存在になること。

7

ESSENCE-Qの導入

「なんとなく気になるね」から

「ESSENCEかもしれないね」へ



8

その他のサポート

健診会場の環境設定

- ✔ 問診場面の設定
- ✔ リアルタイムで情報共有するためのバックヤードの設置
- ✔ カルテの置き場所の構造化 など

スタッフ共有のためのシート

- ✔ 子どもの発達の見立て、親子の様子、保護者にお伝えした内容、ESSENCEチームによる行動観察などを記入
- ✔ 各ブースのスタッフ間で共有
- ✔ 保健指導で保護者にお伝えしたこと、今後のサポートについて記入

9

保護者支援の取り組み①

ーペアレント・プログラムー



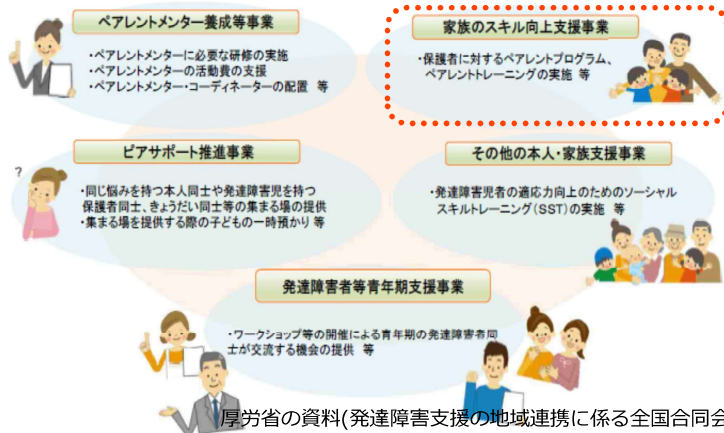
10

発達障害児者及び家族等支援事業

【事業概要】

発達障害者の家族が互いに支え合うための活動等を行うことを目的とし、ペアレントメンターの養成や活動の支援、ペアレントプログラム、ペアレントトレーニングの導入、ピアサポートの推進及び青年期の居場所作り等を行い、発達障害児者及びその家族に対する支援体制の構築を図る。

【実施主体】都道府県、市区町村 【補助率】1/2



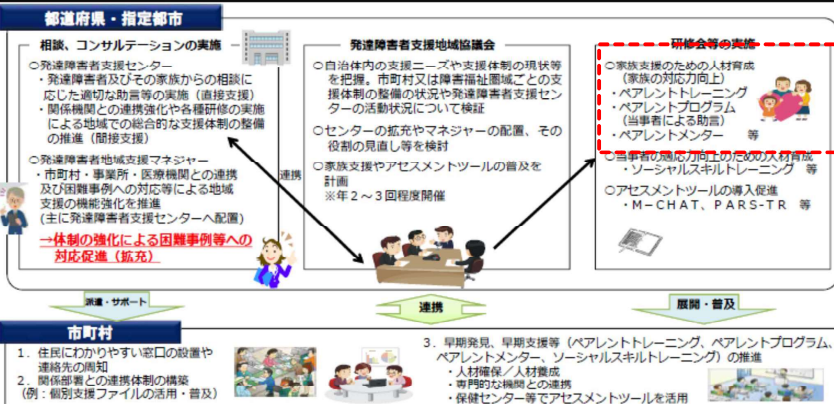
11

厚労省の資料(発達障害支援の地域連携に係る全国合同会議)より

発達障害者支援体制整備事業【拡充】

乳幼児期から成人期における各ライフステージに対応する一貫した支援の提供を目的として、関係機関等によるネットワークの構築や、ペアレントメンター・ペアレントトレーニング等の導入による家族支援体制の整備、発達障害者特有のアセスメントツールの導入を促進するための研修会等の開催を行っている。また、地域の中核である発達障害者支援センターの地域支援機能の強化を図るため、「発達障害者地域支援マネジャー」の配置を行い、市町村・事業所・医療機関との連携や困難ケースへの対応を行っている。

令和4年度予算では、近年の発達障害関係の相談件数の増に伴う困難事例の増等に対応するため、発達障害者地域支援マネジャーの体制強化として、全ての都道府県・指定都市で2名のマネジャーを配置し、困難事例への対応促進等を図ることで、更なる地域支援機能の強化を進める。



12

厚労省の資料(発達障害支援の地域連携に係る全国合同会議)より

子育てを
ラクにする

保護者のためのプログラム



ペアトレ・トレーニング

専門機関などで実施



ペアレント・プログラム

自治体が主体となって実施



ペアレント・プログラムは
ペアトレの前段階の位置づけとして、「行動で考える」に特化し、
保護者の認知の枠組みを修正することを目指した簡易的なプログラム

13

ペアレント・プログラムの 3つの目標

「行動」

で考える

【現状把握表】を使って、自分と子どもの行動を「いいところ」「努力しているところ」「困ったところ」で整理していく。自分の行動と子どもの行動のリストで具体的に把握することで、行動を客観的にとらえられるようになる

「ほめる」

対応

毎回の宿題として、できたことをほめるということをしるるな形で家庭で取り組んでいく
「いつ」「どこで」「どのように」ほめたら子どもが「どんな反応」だったかを確認していく

「仲間」

をみつける

保護者のペアワーク、グループワークで、他の保護者の工夫を知るだけでなく、我が子について話ができる。共通の話題をで同じ取り組みをすることで、自由な話し合いが苦手な保護者も参加しやすい。

14

隔週で全6回（1回60分～90分程度）

第1回 現状把握表を書いてみよう

第2回 行動で考えよう

第3回 行動のカテゴリーをみつけよう

第4回 ギリギリセーフ！をみつけよう

第5回 ギリギリセーフ！をきわめよう

第6回 ペアプロでみつけたことを確認しよう

15

現状把握表

【自分編】

現状把握表 第 〇 〇 月 日 ()

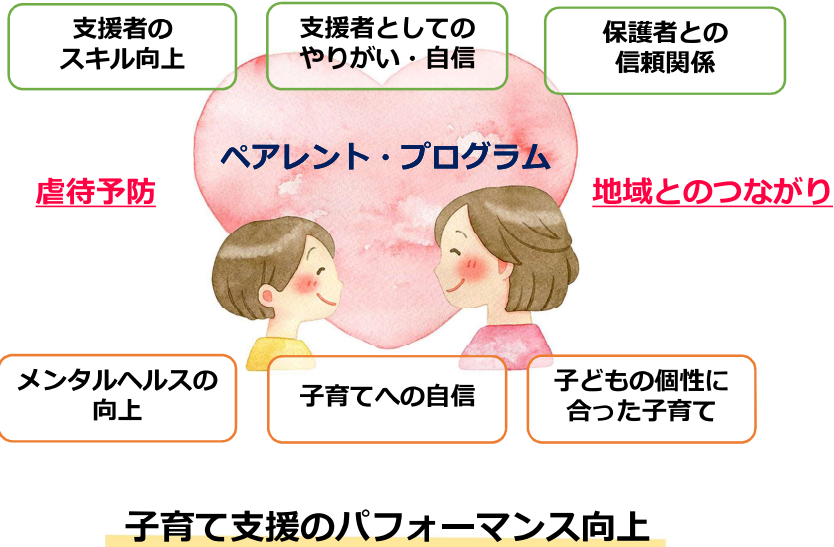
現状把握表【自分編】			
カテゴリ	いいところ	努力しているところ	困ったところ

【子ども編】

現状把握表 第 〇 〇 月 日 ()

現状把握表【子ども編】			
カテゴリ	いいところ	努力しているところ	困ったところ

16



こういったプログラムの実施には「費用対効果はあるのか」という声はつきものですが…

うちは小さい町なので費用対効果は高いです。かつ、口コミでお母さん達がペアプロのことを知るようになってきています。初めてプログラムを実施する時は準備もあって負担はあると思いますが、実施を重ねていくうちに、費用対効果はどんどん上がっていくと思います。

A町保健師さん



金沢大学 村山先生

日本版K6を見ると、3回目実施前に、すでに得点が下がっている。つまり、2回のプログラムで（1か月で）すでに効果が出てくるということです。ひとりひとりに個別面接をしなくても、2週間に1回程度、グループで行うことで効果があるということは、これは費用対効果が高いということじゃないですか？



来年度は
大月町の保健師さんや保育士さんがペアプロを実施するのをサポートしたいと思います

子どもの
発達の見立て

乳幼児健診

子育ての難しさに寄り添い
子どもの発達を一緒に見ていく

個性に合った
子育て

ペアレント・プログラム

保護者支援の取り組み②

—我が子の発達への気づきを支える—

25

健診後、保護者を支えるために

親子と面接する機会を作る！

保護者と支援者が一緒に
子どもを目の前にして(真ん中にして)
子ども発達の様子や変化を確認していくことが大切！



親子相談会

26

親子相談会でやっていくこと

- 保護者にESSENCE-Qを記入してもらおう
- 保健師は、子どもを観察しながら、保護者と話をする
- Eチームは、子どもの観察、保健師が話すことの補足

- ・ 子育てに難しさを感じることへのサポート
- ・ 我が子の発達を知る過程をサポート



保護者によるESSENCE-Qの記入

保護者の気づきを知ることができる

視覚的に示しながら話ができる

項目をもとに開かれた質問ができる

面接の目的を伝えることができる

28



子育ての難しさは
子どもの「発達」が
関係している

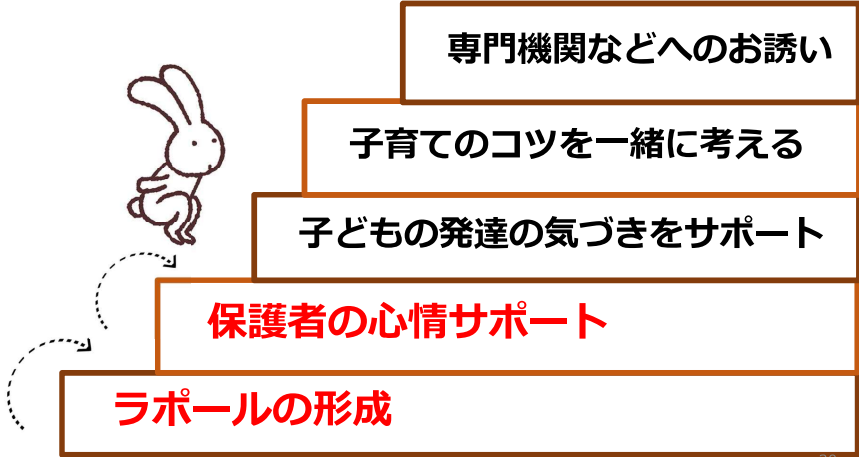
お母さんのせい
じゃないよ

子育てのコツが
いるんだよねえ



ギルバーグセンターのHPから
ダウンロードできます！

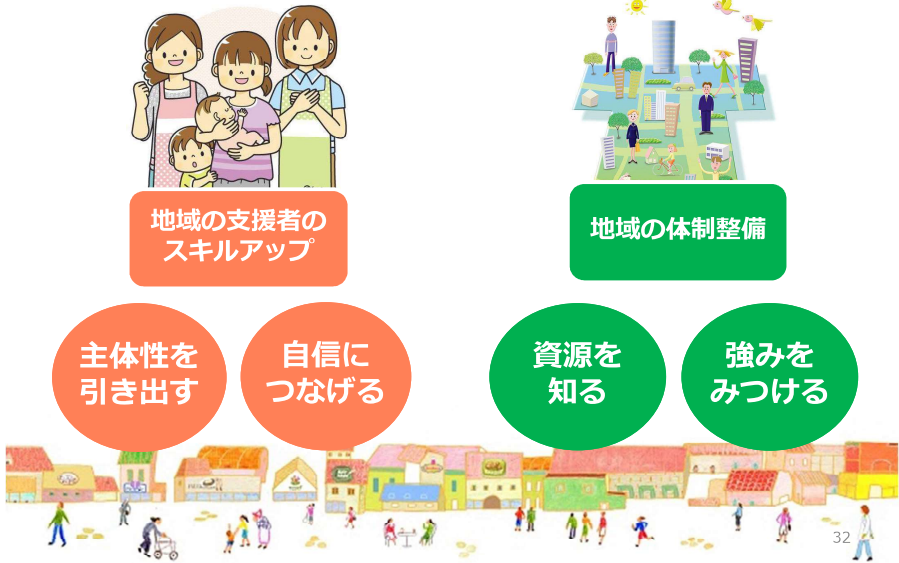
保護者の心情サポートを第一に



さいごに



ESSENCEチームの役割



「なんとなく気になるね」から 「ESSENCEかもしれないね」へ

地域の支援者みんなで、ESSENCEの概念を活用することで

共通の視点で
子どもを見ることができる

共通言語で
話し合うことができる

共通理解ができる
安心感と心強さ

それぞれの役割が
明確になる

「今できること」
を
考えるようになる



是非 皆さんの地域でも
ESSENCEの概念を!